

# 学びと誇りが実感できるまち

～使う必要性を考えてみる

ルールを決め・守る！～

平成30年11月号

庄原市教育委員会  
教育長 牧原 明人



牛の子の大きな顔や草の花

(高浜虚子)

先月の教育フォーラムでは、中学生が「10年後の庄原」をテーマに、本市の魅力発信とともに今後取り組みたいことをしっかりと発表しました。なかでも、データや資料をもとに、市の現状分析を行い、市全体のことを考え、自分たちにできることは何かについて、前向きに検討した内容は、明るい展望につながる提案でした。是非、10年後には「私たちのふるさと庄原」に熱い力を注ぎ、今の気持ちを忘れないで活力ある（貢献する）姿を見せてほしいです。

さて、今回は、市内の小中学生を対象に「スマートフォンや携帯電話等」の実態調査をしたことです。下記の表は、7月～8月に調査した結果です。

スマートフォン・携帯電話等の調査結果

(%)

		小学校3・4年生	小学校5・6年生	中学生
所持率		60.4	77.6	80.2
使用状況 上位5項目 (複数回答有)	① ゲーム	63.3	ゲーム 76.7	ゲーム 68.9
	② 動画を見る	49.1	動画を見る 60.5	音楽を聞く 66.2
	③ 音楽を聞く	31.5	音楽を聞く 44.2	動画を見る 65.3
	④ ひまつぶし	28.0	ひまつぶし 32.5	ライン・メール 56.8
	⑤ 勉強	21.6	情報収集 30.4	情報収集 49.1
使用時間	21時まで	84.3	74.2	35.9
	22時まで	9.4	19.4	32.0
	23時まで	2.9	3.8	19.0
	23時以降	3.4	2.6	13.1
ルール・約束あり		77.8	79.7	60.3

スマートフォンや携帯電話等を小学校3・4年生から6割以上の子供が所持しており、しかも使用状況は多くの子供たちが「ゲーム、音楽を聞く、動画を見る」となっています。使用時間もこれまで21時までを共通の目標にしていたましたが、実態は、学年が上がるほど遅くまで使っており、特に、中学生の6割以上が21時以降も使用し、その内23時以降使用も1割を超えています。また、家庭生活の中でスマートフォンを手放せない子供もいるようです。学力や健康への影響、悪口や傷つくことが書き込まれるなど、長時間使用や使い方による問題が出ていることもあります。

学校でも「なぜ使うのか」「適切な使い方」「問題となっている案件」などについて指導を行っていますが、スマートフォン等を子供に与えている家庭では「使い方のルールを決め、決めた以上は必ず守る」といった話し合いをしてください。